

台湾有事で机上演習

元防衛相ら 日本の対応を検討

元防衛相や自衛隊の元幹部らが参加する台湾有事を想定した机上演習が6日、都内で始まった。

中国が実際に台湾周辺へ弾道ミサイルを撃ち込むなど軍事威嚇を強めている。事態の急変に日本がどう対処するかをシミュレーションした。

会合は2021年に続く2回目で、日本戦略研究フォーラムの主催で7日まで開く。

想定として①平時でも有事でもない「グレイゾーン事態」から沖縄県・尖閣諸島での不測の事態発生②邦人退避や台湾からの避難民対応③中国の核による脅迫への対

処への3つのシナリオに基づいて課題を探る。

6日は首相役や防衛相役などを設け、国家安全保障会議（NSC）の9大臣会合を模してグレイゾーン事態について議論した。

上民兵が乗り込んだ可能性がある大量の漁船が押し寄せ、日本の海上保安庁の巡視船と衝突する隙に、漁民が尖閣諸島に上陸する状況について話し合った。

同時に中国本土から台湾に一気にミサイル攻撃が加わり「二正面の有事」が加わり「二正面の有事」決めた。

擬演習を実施したと明らかにした。午後5時（日本時間午後6時）までに周辺の空・海域で中国軍の航空機20機、艦船14隻が確認され、うち航空機14機は台湾海峡の事実上の停戦ライン「中間線」を台湾側に越えた。

中国側による中間線越えが確認されたのは4日連続となる。中国は台湾周辺での大規模演習を7日まで続ける予定だ。

台湾本島侵攻を想定か

中国軍の演習 陸地攻撃に重点

【台北＝龍元秀明】ペ

ロシ米下院議長長の訪台に反発する中国が、台湾への軍事威嚇を続けている。中国人民解放軍で台

湾方面を担当する東部戦区は6日、台湾の空・海

域で「陸地攻撃」を重点においた演習を行ったと発表した。台湾本島への

侵攻を念頭に置いているとみられる。

台湾の国防部（国防省）も同日、中国軍が台湾本島への侵攻を想定した模

中国の軍事演習 即時中止を要求

日米豪外相が声明

【アノンペン】朝比奈

宏）外務省は6日、林芳正外相と米国のプリンケル国務長官、オーストラリアのウォン外相による声明を発表した。中国に台湾周辺での軍事演習を即刻中止するよう要求した。